

日印産連表彰 受賞者の紹介

日印産連表彰は、長年にわたり印刷産業の発展に貢献された個人・団体に対して顕彰する制度で、「9月印刷の月」の記念事業として表彰が行われる。

本年度は、印刷功労賞9名、印刷振興賞17名が表彰を受けた。

印刷功労賞

春 公明

トーイン株式会社
代表取締役会長兼 CEO

印刷工業会

(故人)



受賞理由

2014年5月に印刷工業会の理事に就任、以降現在まで8年間理事を務める。印刷工業会では商業印刷等情報系印刷の会員が多くを占める中、包材印刷系の会社としての発信を行い、団体活動を通じて印刷業界の発展に尽力する。また、印刷工業会部会には紙器印刷部会、資材部会、女性活躍推進部会等にメンバーを派遣、またセミナーや各種イベントにも積極的に参加し支援した。

奥田 章雄

株式会社マルモ印刷
代表取締役

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成26年から全印工連理事、香川県工組理事長、平成28年からは、全印工連常務理事として中小印刷産業の振興・発展に努める。この間、四国地区印刷協議会会长などの要職を務め、全印工連基本テーマ「志あふれる印刷産業へ、期待される価値を求めて」のもと、印刷産業の持続的な発展と社会生活を創造する「夢のある産業」の実現に向けての諸事業の周知・啓発に尽力するなど、中小印刷産業の発展向上に大きく貢献した。

印刷功労賞

池田 幸寛

池田印刷株式会社
代表取締役

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成 24 年から令和 2 年までの 8 年間、全印工連常務理事などの要職に就く。この間、各種委員会委員長を歴任し、平成 30 年からは幸せな働き方改革プロジェクトチーム委員長として、全印工連ブランドスローガン「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」の中心事業となる「幸せな働き方改革」ステップ 1 から 5 のプロセスを構築し、各プロセスの手引書を完成させるなど、中小印刷産業の振興・発展に大きく尽力した。

青木 滋

西武写真印刷株式会社
代表取締役

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

平成 2 年から平成 10 年、平成 24 年から令和 2 年まで通算 16 年間常任理事・理事を務める。マーケティング委員会委員長、経営基盤強化委員会委員を歴任し、グラフィックサービス工業の新事業開拓・新商品開発に取り組みビジネスステリトリー拡大に尽力した。平成 11 年より平成 14 年まで新宿支部長を務め、地元自治体と関連業界の連携に注力し、地域における業界の地位向上に寄与した。

鈴木 博

鈴木製本有限会社
代表取締役会長

全日本製本工業組合連合会



受賞理由

現在、全日本製本工業組合連合会副会長、東京都製本工業組合理事長の要職を務める。2008 年全製工連の理事に就任し、2020 年より同副会長に就任。東京工組では、2014 年より副理事長、令和 2 年より理事長へ就任した。製本業界への個人情報保護体制認定制度の周知浸透に尽力、また中小規模事業所向けの技術者養成の体系確立に大きく寄与した。専門委員長および担当副会長として全国の紙製品業者を取りまとめあげ、その功績により組合組織の発展に努めた功績は大きい。

永野 雅子

株式会社 飛鳥
常務取締役

日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



受賞理由

GC 四国の会計、副理事長として、長年にわたり組織の基盤を支え続け、四国地区の業界組織の運営、振興に積極的に取り組み続けた。また、GCJにおいても理事、常務理事の要職を歴任し組織運営に尽力した。30 年以上にわたり組合運営を支え続けてきた功績は多大であり、感謝と尊敬の念が尽きることがない。

大 槻 裕 樹

株式会社 大槻シール印刷
代表取締役会長

全日本シール印刷協同組合連合会



受賞理由

2015年から2018年の2期4年連合会の副会長を歴任して、2019年に行われた第61回年次大会・びわ湖大会を成功に導く運営をしながら、シールラベルコンテストにも積極的に参加して京都シール印刷工業協同組合のコンテスト活性化・技術の向上に尽力した。2019年まで京都シール印刷工業協同組合の事務局を会社内で兼ねていたので組合運営にも長けており、組織の強化・活性化を図った。

小金澤 和夫

東和グラビア印刷株式会社
取締役会長

全国グラビア協同組合連合会



受賞理由

昭和51年5月より関東プラスチック印刷協同組合監事、昭和53年5月理事就任、平成13年5月より副理事長に就任、以来一貫して、「組合のないところに業界の発展はない」という先輩の意思を受け継いで、組合運営に携わり、組織強化、業界の振興発展に長年にわたり貢献している。また、上部団体、全国グラビア協同組合連合会の監事を務め、業界の地位向上、環境問題への社会的責任への取り組みなど積極的に参画し、具体的な事業計画を推進している。環境省の地球温暖化の防止、大気汚染防止法によるVOC排出抑制規制への対応の為勉強会開催。上部団体が行う環境対策セミナーへの参加を積極的に事業計画に盛り込み、組合員に配布し意識の啓蒙を図っている。今現在理事として長年組合に貢献している。

梅 田 滋

梅田スクリーン印刷株式会社
取締役会長

全日本スクリーン・デジタル
印刷協同組合連合会



受賞理由

埼玉スクリーン・デジタル印刷匠協同組合の設立に携わり、連合会の会員増強に大きく寄与した。また、1966年の会社創業以来の長い経験を有するスクリーン印刷と、UVインクジェットプリントの技術を融合した表示サイン・看板づくりには定評があり、連合会の場において、理事としてそれらの技術を業界の若手経営者に惜しみなく伝授・指導し、業界の技術向上に多大な貢献を成した。

印刷振興賞

船津 順一

株式会社DNPロジスティクス
顧問

印刷工業会



受賞理由

1974年4月、大日本印刷入社。グラビア印刷技術者として国外の技術を探求し、国内のグラビア印刷発展の礎を築いた。DNPロジスティクス社長就任後は「お客様に幸せを運ぶ」をモットーに印刷製品の社会普及に尽力した。

鎌仲 宏治

凸版印刷株式会社
情報コミュニケーション事業本部
情報メディア事業部事業企画本部知財
・コンテンツ事業開発部 担当部長
印刷工業会



受賞理由

凸版印刷入社後、商業印刷営業に長く携わり、平成20(2008)年より出版印刷営業の部門責任者として出版社の有する資産(コンテンツ、ライツ等)のビジネス化やデジタル変革、マーケティング支援に尽力。平成21(2009)年より印刷工業会出版印刷部会の副部会長、平成29(2017)年より部会長を務め、出版印刷業界全体の発展に貢献した。

前川 真悟

日本製紙リキッドパッケージプロジェクト株式会社
三木事業所 製造部長代理兼印刷課長

印刷工業会



受賞理由

入社以来39年間、液体紙容器の印刷、製造技術一筋に携わり、操業改善、技術力向上に尽力した。後進の育成にも、長年の卓越した技能と指導力を大いに發揮し、事業所ひいては会社の成長に大きく貢献している。

戸田 健太郎

ダイオーミウラ株式会社
製版部部長

印刷工業会



受賞理由

長年に渡り製版・品質管理担当として、MacDTP活用やカラーマネジメントシステム普及、色校正デジタル化推進に努めた。またJapanColor各種認証の取得、啓蒙やデジタル印刷機開発にも貢献した。

谷口 博則

株式会社谷口印刷
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成26年からの8年間、全印工連理事および島根県工組理事長の要職を務める。また、全印工連では、長年に亘り官公需対策協議会の幹事を務め、中小印刷業界の主要な発注先である官公庁からの受注(官公需)に関する取引改善の推進に努めた功績は顕著である。

白石 秀充

株式会社博多印刷
取締役会長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成29年から令和4年までの5年間、全印工連理事および福岡県工組理事長の要職を務める。また、平成22年から4年間にわたり、全印工連MUD事業推進室の委員を務め、より多くの人に伝わる情報を提供する「MUD活動」の周知・啓発に大きく貢献した。

吉田 克也

ヨシダ印刷株式会社
代表取締役社長

全日本印刷工業組合連合会



受賞理由

平成 26 年からの 8 年間、全印工連理事、石川県工組理事長および中部地区印刷協議会副会長として、業態変革事業やソリューションプロバイダーへの進化、幸せな働き方改革などの全印工連各種事業を積極的に推進し、中小印刷業界の発展向上に大きく貢献した。

加藤 薫

アコーダー・ビジネス・フォーム株式会社
常務取締役営業本部長

日本フォーム印刷工業連合会



受賞理由

15 年に渡り中部フォーム印刷工業会の監事として歴任している。会への出席及び発言、並びに活動においても積極的に参加し、中部フォーム印刷工業会において大変貴重な存在として活動している。

太野垣 裕二

寿フォーム印刷株式会社
代表取締役社長

日本フォーム印刷工業連合会



受賞理由

長年関西フォーム印刷工業会の理事として、活動に積極的に参加・協力し、特に京滋支部の支部長を 14 年間と長きに渡り務め、支部活動や運営に対し、リーダーシップを發揮し尽力された。

中島 博

株式会社中島プリント商会
代表取締役

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

平成 20 年より平成 22 年まで副会長、平成 16 年より平成 18 年、平成 2 年より平成 6 年まで理事を務める。また、平成 5 年より現在まで群馬県支部長として関東地協、群馬県支部の活性化に尽力し業界の振興発展に寄与した。

竹田 正司

有限会社竹田謄写堂
会長

一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会



受賞理由

平成 12 年より平成 14 年まで、平成 26 年より平成 28 年まで理事を務める。平成 8 年より平成 14 年および平成 27 年より現在まで滋賀県支部長を務める。近畿地協および滋賀県支部の組織拡大と活性化に尽力した。

金子 誉

共同製本株式会社
代表取締役社長

全日本製本工業組合連合会



受賞理由

全日本製本工業組合連合会において、2014 年より理事として書籍・雑誌専門委員長に就任。全国において開催される専門委員会の活性化に努めたほか、連合会事業の充実化に努め、全国製本業の振興発展に寄与している。

印刷振興賞

宮寄 佳昭

株式会社ミヤプロ
代表取締役
日本グラフィックコミュニケーションズ
工業組合連合会



受賞理由

GCJ副会長、GC四国理事長として業界振興に多大な貢献を果たしてきた。また、香川県印刷工業組合理事長、香川県中小企業団体中央会理事など多岐にわたり要職を務め、その功績は賞賛に値する。

山中 克典

株式会社日本管理ラベル
代表取締役
全日本シール印刷協同組合連合会



受賞理由

2011年～2012年は理事経営委員会、2013年～2014年は理事環境委員会を務めて「人材育成・営業力強化・環境問題」に取り組み情報収集と発信に努めた。同時期所属の東海北陸シーリング印刷協同組合では副理事長を務めて「組織の強化」に尽力した。

松崎 徳治

東洋 FPP 株式会社
川口製造所 所長付
全国グラビア協同組合連合会



受賞理由

全国グラビア製版工業会連合会の専務理事として知識を活かし、「印刷学会グラビア研究会」が開催しているグラビア基礎講座では初回より現在に至るまで「グラビア製版の基礎」の講師を務め、若手製版技術者の育成に努めている。

小川 秀久

株式会社ストリーム
代表取締役社長
全日本スクリーン・デジタル
印刷協同組合連合会



受賞理由

1938年に友禅染の型紙作りで創業し、その創始の技術を活かしスクリーン印刷、大判インクジェット、昇華転写、ウェルダー加工と広範な業務を展開し、中国地方で搖ぎ無い地盤を築き上げた。

吉田 純一

株式会社吉田製作所
代表取締役
全日本光沢化工紙協同組合連合会



受賞理由

全日本・関東の専務理事として要職を務め組合事業の活性化に尽力し、価値創出委員会の地方創生・市場動向調査部会としても積極的に取り組んだ。組合他、関連団体等とも精通しており組合内外からの信頼も厚く、情報の共有など組合活動に大いに貢献した。